

平成 19 年度予算 施策別概要

4 1 3 水環境の保全

(主担当部局 : 環境森林部)

- 41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進
(環境森林部)
- 41302 生活排水対策の推進
(環境森林部)
- 41303 伊勢湾の再生
(環境森林部)
- 41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進
(政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 河川・海域が

(意図) 水遊びができる水質に維持または浄化されている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	水浴びや水遊びができる水質 (B O D 2 m g / L 以下) の河 川の割合	目標値	2010	9 3 %
			2007	8 3 %
		現状値	8 1 % (2001 年 ~ 2005 年度)	

県内の河川水域 (2005 年度末現在 62 水域) のうち、河川の水質が水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または改善されている (生物化学的酸素要求量 (B O D) 2 m g / L 以下) 水域の割合

なお、河川の B O D は降雨等の気象による影響を受けることがあるので、過去 5 年間の平均値を現状値としています。(三重県公共用水域水質測定結果)

県の取組 目標項目 (副指標)	生活排水処理施設の整備率	目標値	2010	7 6 . 5 %
			2007	7 3 %
		現状値	6 7 . 9 % (2005 年度)	

< 現状と課題 >

- ・ 河川の水質については向上傾向にあるものの、海域の水質は横ばい状態であり、公共用水域の水質向上のため、汚濁負荷の一層の削減が必要です。水質汚濁の主な要因である生活排水の対策について、地域の実情に応じた整備を一層進める必要があります。
- ・ 閉鎖性水域である伊勢湾については、第 5 次伊勢湾水質総量規制において、工場・事業場等から排出される化学的酸素要求量 (C O D) 、窒素およびりん等の削減に努めてきましたが、環境基準の達成率が悪く、伊勢湾再生に向けては、本県における対策の強化に加え、県境を越えた広域での取組を進める必要があります。

< 平成 19 年度 の取組方向 >

河川・海域の水質等の監視や調査研究を実施するとともに、工場・事業場排水の監視・指導を引き続き行います。

また、生活排水対策については、平成 18 年 3 月に改定した「三重県生活排水処理施設整備計画 (生活排水処理アクションプログラム)」に基づき、浄化槽の設置促進など、それぞれの地域の実情にあった生活排水処理施設の整備を進めます。

伊勢湾の水質改善については、第6次総量規制に基づき工場等の排水のCOD、窒素、リンの総量削減など水質の保全・改善に向けた取組を進めます。
さらに、伊勢湾の再生に向け、国を含めた関係自治体で構成する「伊勢湾再生推進会議」において策定した「伊勢湾再生行動計画（平成18年度）」を推進するため、多様な主体と連携して取り組んでいきます。

<主な事業>

（一部新）河川等公共用水域水質監視費

【基本事業名：41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進】

予算額： 39,662千円 45,792千円

事業概要： 公共用水域および地下水の水質監視を実施します。また、伊勢湾に流入する汚濁負荷量の削減のため総量規制を実施するとともに、伊勢湾の水質・底質の調査を行います。

（一部舞）浄化槽設置促進事業

【基本事業名：41302 生活排水対策の推進、41303 伊勢湾の再生】

予算額： 699,519千円 588,769千円

〔	内訳	浄化槽設置促進事業	246,114千円	120,066千円
		（舞）伊勢湾海域浄化槽整備重点促進事業		
〕			453,405千円	468,703千円

事業概要： 快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質の維持・改善をはかるため、市町が実施する浄化槽の設置に対する助成や個人の設置に対し補助を行う市町に対する助成を行い、浄化槽の普及を促進します。（平成19年度4,448基設置予定）

（舞）伊勢湾行動計画推進事業【基本事業名：41303 伊勢湾の再生】

予算額： 2,967千円 3,417千円

事業概要： 国と三県一市等で組織する「伊勢湾再生推進会議」において、平成18年度に策定した「伊勢湾再生行動計画」を着実に進めるため、大学等研究機関など多様な主体との連携により、調査研究や普及啓発等に取り組めます。

閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業

【基本事業名：41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進】

予算額： 20,568千円 17,400千円

事業概要： 環境汚染が深刻化している英虞湾における干潟、浅場、藻場などの自然浄化機能について研究し、新たな環境を創生するため、沿岸環境創生技術、底質改善技術を開発するとともに、環境動態シミュレーションモデルの確立に取り組めます。